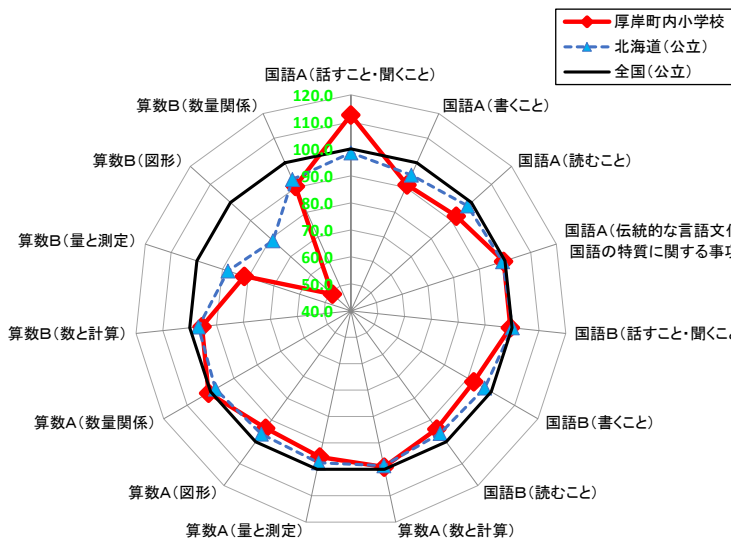


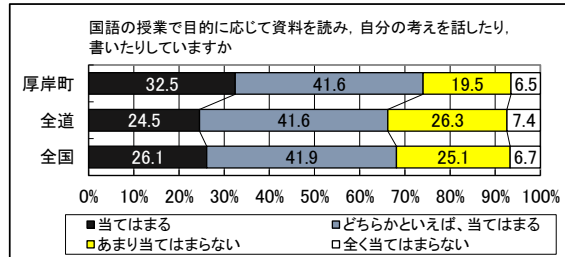
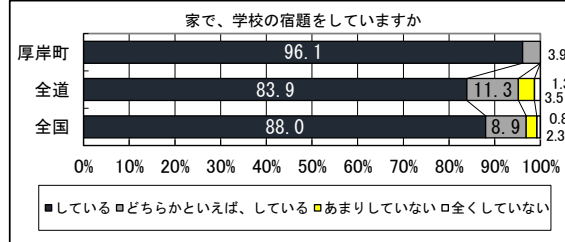
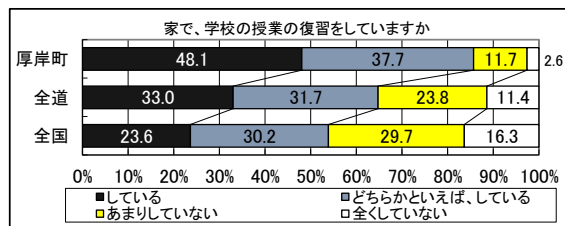
■厚岸町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:77人)

【教科全体の状況】

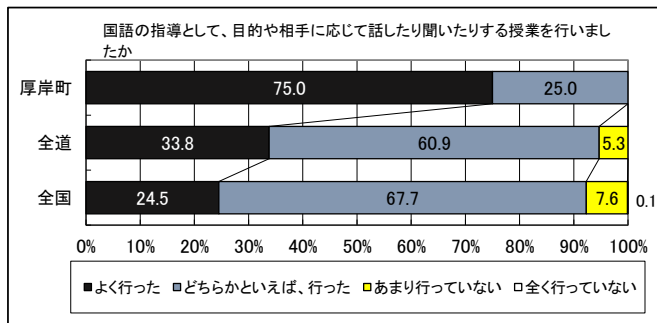
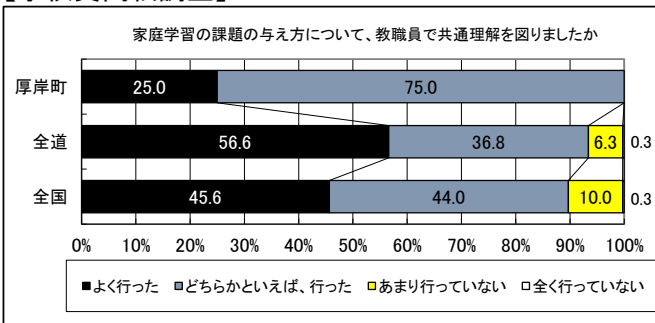
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」で全国を上回り、「数と計算」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図り取り組んだことにより、児童が家庭で学校の宿題をしたり、授業の復習をしたりする習慣が身に付いてきたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、児童に国語の話したり、聞いたりする能力が定着してきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解をよく図った、どちらかといえば図った」と回答している。 ○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

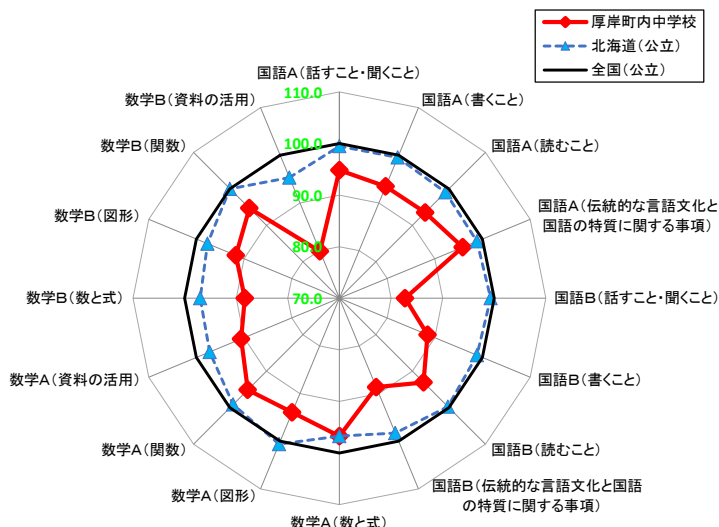
【厚岸町の学力向上策】

- ◎ 教員の授業力を高める研修機会の充実および還元場面の設定
- ◎ 社会性や人間性、コミュニケーション能力を高める体験活動の充実
- ◎ ICT機器の効果的な活用
- ◎ 家庭における情報端末機器やゲーム機器使用のルールづくりに関する支援

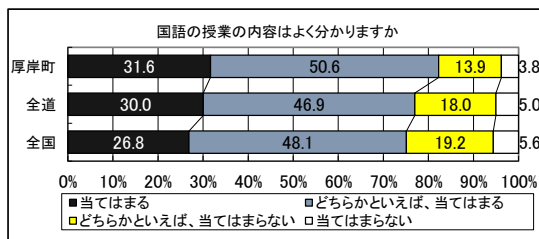
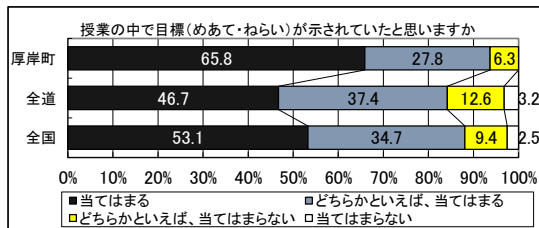
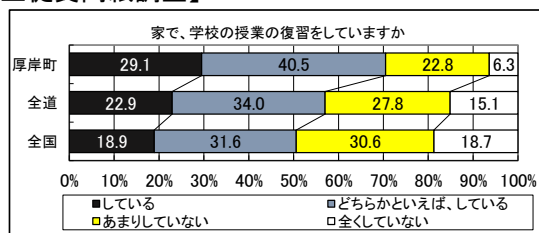
■厚岸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:79人)

【教科全体の状況】

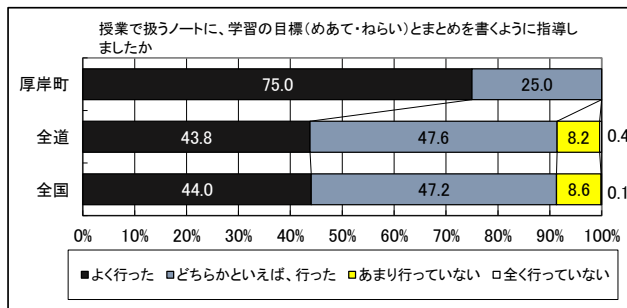
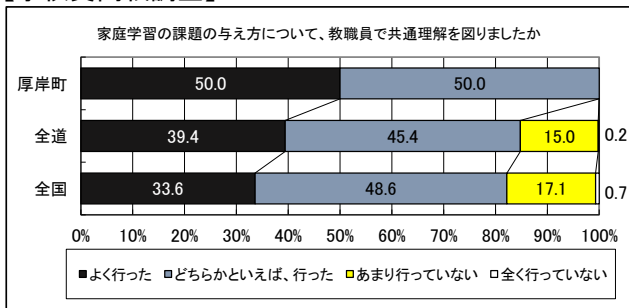
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「数と式」で全道と同じである。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解をよく図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くようによく指導した」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。

【厚岸町の学力向上策】

- ◎ 教員の授業力を高める研修機会の充実および還元場面の設定
- ◎ 社会性や人間性、コミュニケーション能力を高める体験活動の充実
- ◎ ICT機器の効果的な活用
- ◎ 家庭における情報端末機器やゲーム機器使用のルールづくりに関する支援